

目 次

提言の要約	1
提言のコンセプト	2
提言 1	3
施策 1	3
施策 2	4
提言 2	5
施策 3	5
施策 4	6
おわりに	6
【付随資料】	
資料 1 : 人口の推移（全国・鎌ヶ谷市）	7
資料 2 : 経常収支比率の推移（全国）	7
資料 3 : 借入金残高の状況（全国）	8
資料 4 : 公共施設の建築年数の状況（鎌ヶ谷市）	8
資料 5 : 団塊世代における地域活動への意識（鎌ヶ谷市）	9
資料 6 : 自治会加入率及び人口世帯数の推移（鎌ヶ谷市）	9
資料 7 : 実施に向けた全体の流れ	10

将来における公共施設のあり方と管理運営方法

- 公共施設の集約化による市民サービスの向上 -

現状

- 1 少子高齢化が進展し、人口減少社会が到来したこと。【資料 1】
- 2 地方公共団体の財政状況が悪化したこと。【資料 2、資料 3】
- 3 公共施設の老朽化が進行したこと。【資料 4】

課題

- 1 公共施設の老朽化に伴い、計画的な建替えが必要なこと。
- 2 公共施設の維持管理経費の更なる効率化が必要なこと。
- 3 団塊世代において、サークル活動及び地域活動等への要望が高いこと。
【資料 5】
- 4 自治会加入世帯が減少し、地域コミュニティが希薄化したこと。【資料 6】

目標

小学校は、その他の公共施設を集約するとともに、小学校の既存機能を強化したうえで、総合的な地域の交流拠点施設とします。

将来の小学校は、赤ちゃんからお年寄りまでの幅広い世代層の住民が、気軽に外向き、教育、スポーツ、生涯学習、地域交流活動から介護の相談機能までを一体的に行う施設とし、この施設の管理方法は、指定管理者制度、PFI方式など、多様化した管理形態から最適なものを採用します。

さらに、地域においても、小学校が中心となった、地域コミュニティを形成しながら、暮らしています。

提言

提言 1

小学校は、「総合的な地域の交流拠点施設」とします。

提言 2

公共施設の管理運営は、民間に委託し、「財政負担の軽減」と「市民サービスの質の向上」を図ります。

施策

- 1 公共施設は、原則として、小学校にすべて移管します。
- 2 小学校の既存機能の強化を図るとともに、一般市民に開放します。
- 3 公共施設は、設計・建設・管理運営・資金調達を一体的に民間に委ねるPFI方式を導入し、計画的な建替えと事業運営を行います。
- 4 児童の安全を守るとともに、提言した効果を把握するため、住民基本台帳カードを公共施設の利用カードとして活用します。